本学学生プロジェクトが イタリア発祥の国際絵本コンテストの公式ジュニア版を 11/14(土)に 山形市中央公民館を会場に開催

東北芸術工科大学（山形市上桜田／学長 中山ダイスケ）では、当時の学生プロジェクトが山形市七日町の古書店「郁文堂書店」をリノベーションし、10 周年を迎えたことを記念して、学生プロジェクト「郁文堂 tuzuru」によるイタリア発祥の国際絵本コンテストの公式ジュニア版「SILENT BOOK CONTEST JUNIOR※ in 山形」を、11 月 14 日（土）に山形市中央公民館にて開催いたします。

※「SILENT BOOK CONTEST JUNIOR」については、2 枚目をご参照ください。

これは、翌週に開催される「郁文堂 tuzuru 10th Anniversary 感謝祭」に先立ち行われる関連企画で、学生が主体となって企画・運営を行い、山形市中央公民館と山形市立図書館との協働により実現するものです。また、本コンテストの日本事務局であり、全国で活躍するデザイナーの原田祐馬氏（UMA/design farm 代表）をサポートに迎え、地域の子どもたちが読書の主役となる新しい体験プログラムを展開します。

つきましては、本学学生が地域のまちづくりや、子どもたちが本に親しむ機会を創出する本取り組みを多くの方に知っていただきたく、ぜひ取材・広報にご協力くださいますようお願い申し上げます。

■「SILENT BOOK CONTEST JUNIOR in 山形」開催概要

【 日 時 】2026 年 11 月 14 日(土) 10:00～12:00
【 会 場 】山形市中央公民館 5 階 視聴覚室（〒990-0042 山形市七日町一丁目 2 番 39 号）
【 対 象 】8～11 歳（小学生中～高学年）とその保護者（保護者なしでに参加可）
【 定 員 】10 名（事前申込制・先着）※参加費無料
【 参加者 】郁文堂 tuzuru 学生 5 人（建築・環境デザイン学科 3 年生 3 人、1 年生 2 人）
【 主 催 】郁文堂 tuzuru（郁文堂書店プロジェクト学生スタッフ）
【協力・補佐】原田 祐馬 氏（UMA/design farm 代表 / SILENT BOOK CONTEST 日本事務局）、
旭銀座のれん会
【Instagram】https://www.instagram.com/ikubundoutuzuru/

■当日のプログラム(変更する可能性あり)

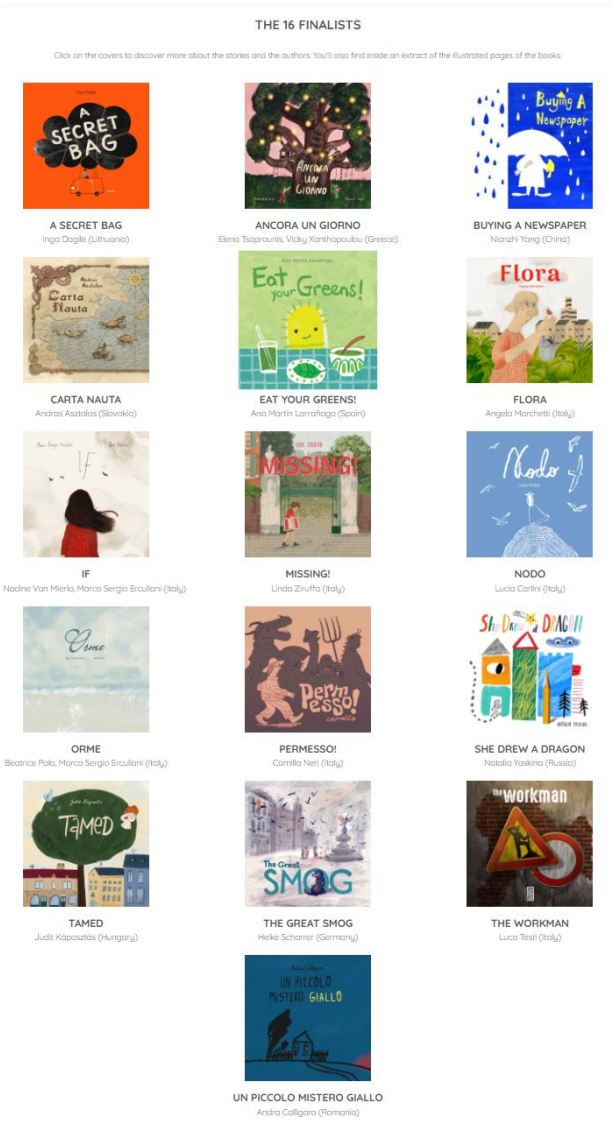
9:45～10:00 受付
10:00～10:15 オープニング
10:15～11:15 審査・自由鑑賞
（世界各国の文字のない絵本を巡回）
11:15～11:45 保護者への共有・まとめ
11:45～12:00 クロージング

※右記写真は、「佐川町図書館 さくと」で行われた「SILENTBOOK CONTEST JUNIOR 2025」の様子



■「サイレントブック」とは

文字が一切なく、絵だけで描かれた絵本のこと。言語や国境を越えて親しまれるだけでなく、読む人それぞれの感性や経験によって自由な物語を想像できる魅力があり、子どもも大人も一緒に楽しむことができる。



■「SILENT BOOK CONTEST」とは

イタリアの出版社 Carthusia Edizioni が主催する、世界初の文字のない絵本を対象とした国際コンクール。世界中から集まった応募作品の中から、国際審査員によって 16 作品のファイナリストが選出される。最高賞に選ばれた 1 作品には賞金（印税前払いとして 2,500～2,700 ユーロ）が贈られ、同社からの世界出版が確約される。

■「SILENT BOOK CONTEST JUNIOR」とは

「SILENT BOOK CONTEST」の公式ジュニア版で、最大の特徴は、「大人が評価するのではなく、世界各地の子どもたち自身が審査員となり、物語の語り手となって評価する」という点にある。子どもたちの主体性や自由な感性、発言力を育む先進的な読書教育・文化プログラムとして世界的に注目されており、こちらも子どもたちの投票で選ばれた優勝作品 1 作品が翌年に世界出版される。

※右記「SILENT BOOK CONTEST 2026」ファイナリスト 16 作品
https://silentbookcontest.com/exhibition/

■開催の背景と見どころ

今回の「SILENT BOOK CONTEST JUNIOR in 山形」では、8～11 歳（小学校中学年～高学年）の子どもたちが審査員となり、会場に並ぶ世界各国の文字のない絵本を巡回しながら鑑賞します。それぞれの作品から感じたことを自分の言葉で表現・評価し、最後には保護者も交えて対話や感想の共有を行います。

大人が評価するのではなく、子どもたち自身が作品と向き合い、自分なりの物語を想像し、その魅力を伝え合うことを通じて、自由な感性や表現する力を育む機会となります。

また、山形市立図書館中央分館との連携企画として、館内での特設展示も同時に展開する予定です。

■本件に関するお問い合わせ・取材申し込みについて

取材いただける場合には、11 月 13 日(金)15 時までに、下記メールアドレスまでお申し込みください。

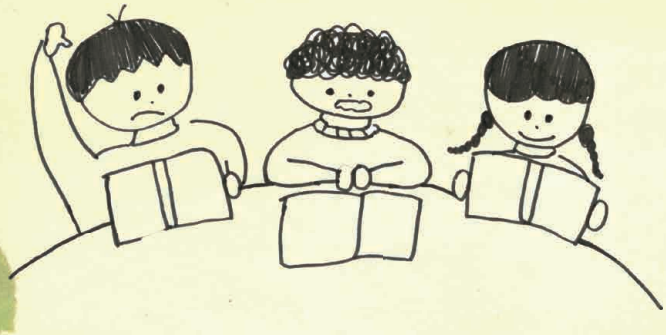
郁文堂 tuzuru 担当：渡部あづさ（建築・環境デザイン学科 3 年生） E-mail：ikubundoutuzuru@gmail.com

※当日参加する児童の撮影については、当日受付にてご案内いたします。

SilentBook Contest Junior in山形

サイレントブックコンテストジュニア インやまがた

文字のない絵本のしんさいん大ぼしゅう！



郁文堂 tuzuru 10th Anniversary 感謝祭
イタリア発！文字のない絵本コンテスト

11/14 土 10:00–12:00

場所：アズ七日町 5F（山形市中央公民館 視聴覚室）

主催：郁文堂 tuzuru（郁文堂書店プロジェクト学生スタッフ）
協力：UMA/design farm 代表 原田祐馬（SILENT BOOK CONTEST 日本事務局）
　　旭銀座のれん会

\ 応募はこちらから /

対象年齢：8〜11 歳

SilentBook(サイレントブック) とは

言葉や文字が使われておらず、絵のみで物語やメッセージを伝える絵本のことです。国境や言語の壁を越えて世界中の人と分かち合える特徴があり、読み手自身が絵の細部を読み取り、自由にストーリーや感情を想像することで、創造性や集中力が育まれます。

高知県立佐川町立図書館「さくと」での SILENTBOOK CONTEST の事例は下記の QR コードからご覧いただけます。

山形市立図書館中央分館 関連企画

山形市立図書館 中央分館にて連携企画として「文字がない絵本」を併設展示いたします。
ぜひ足をお運びください！
展示期間：11月9日(月)–20日(金)

参加要項

活動内容

Silent Book Contest Juniorの最大の特徴は、大人が評価するのではなく、子ども自身が審査員となり、物語の語り手となって優れた絵本を評価するという点にあります。世界各国で審査が行われ、適切な評価の元、子供たちから選ばれた1冊が出版されます。
当日は、8〜11歳の子どもたちが審査員となり、会場に並んだ世界中の文字のない絵本を巡回・鑑賞。感じたことを自分の言葉で表現・評価し、最後には、子どもたち同士や保護者の方も交えて、お互いの感想や見つけた物語を分かち合います。

対象

8–11 歳（小学校 中–高学年）

日時・場所

2026.11.14(土)　10:00–12:00 (受付開始 9:45)

アズ七日町5F (山形市中央公民館 視聴覚室)

※お車の方はアズ七日町地下駐車場等 近隣の駐車場をご利用ください
※建物中央の入口は、10時から開くため、図書館返却ボックス横の入口からお入りください。

参加費

無料

応募について

先着 10 名 (定員になり次第締め切り)
申し込み方法：専用フォームより事前申し込み
URL：https://forms.cloud.microsoft/r/qr7BVcKpVm
お問い合わせ：ikubundoutuzuru@gmail.com

\ 応募はこちらから /

当日のタイムスケジュール

10:00–10:15
オープニング
審査方法の説明

10:15–11:15
審査
(じっくり様々な絵本を鑑賞していきます)

11:15–11:45
振り返り
(保護者と合流し、子どもたちの言葉で感想をまとめます)

11:45–12:00
クロージング
(子ども同士で「どう感じたか」「どの作品が好きか」を共有します)

サポーター



原田祐馬
・UMA/design farm/ 代表
・どく社 / 共同代表
・SILENT BOOK CONTEST 日本事務局

1979年大阪生まれ。大阪を拠点に文化や福祉、地域に関わるプロジェクトを中心に、グラフィック、空間、展覧会や企画開発などを通して、理念を可視化し新しい体験をつくりだすことを目指している。グッドデザイン賞審査委員、秋田公立美術大学客員教授、京都市立芸術大学客員教授、京都精華大学客員教授、名古屋芸術大学デザイン総合研究所ディレクター、花園近鉄ライナーズコミュニケーションディレクターなどを務める。愛犬の名前はワカメ。

郁文堂 tuzuru
最新情報はこちらから！
@ikubundoutuzuru

Design：Kamata Nao